

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療施設指導等経費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～	担当課室	指導課	課長:井上誠一			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救急・災害・へき地医療及び院内感染対策の充実や、医療機関の経営管理改善施策及び医療法人の適正な管理運営の推進を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討、医療計画の推進にかかる指導、医療機関の経営管理改善施策の推進、医療法人設立許可等の事務処理と適正な管理運営のための指導及び医療監視業務等の指導を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	9	9	9	9	9
		補正予算					
		繰越し等					
	計	9	9	9	9	9	
	執行額	9	4	4.4			
執行率(%)	100.0%	44.4%	48.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	社会医療法人数	成果実績		85	120	162	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	・社会医療法人認可申請に係る検査 ・医療機関の医療広告に関する規制についての説明(指導)会開催 医療法第25条第1項の立入検査時の留意事項の説明(助言)会開催	活動実績(当初見込み)		説明会 14回	説明会 14回 (-)	説明会 12回 (-)	- (-)
		算出根拠	23年度執行額/23年度説明会開催数				
単位当たりコスト	369千円/説明会1回あたり						
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0	0				
	職員旅費	3	3				
	委員等旅費	0	0				
	庁費	6	6				
計	9	9					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法に基づく指導監督等にかかる事業であり、医療の安全を確保する上でも優先度の高い事業である。 ・医療の安全と信頼を確保する上で国が実施すべきものである。 ・23年度は東日本大震災の影響により活動実績が下がったものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本全国を対象とした業務であることから水準は妥当と考えるが、コスト削減が可能などあれば引き続きコスト削減に努める。 ・法に基づき実施される業務でもあることから国が負担することが適当であり、他事業者の負担を伴うものではない。 ・指導等に係る必要最小限の費目や使途に限定しており問題はない。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各地に出向き現場を確認して指導・監督等を行うことから、代替手段のない実効性の高い手段である。 ・医療法人数は増加しており成果目標に対する達成度は着実に向上している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	医療機関等への法に基づく指導等にかかる経費であり代替手段のない必要不可欠な事業である。今後も執行状況等を踏まえて、事業規模等について改善していく点がある場合には、的確に反映してまいりたい。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	医療施設指導等経費については、救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討等を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	本事業の趣旨を踏まえ、引き続き効率的な執行に努めたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	42	平成23年行政事業レビュー	0035

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
4.4百万円

[救急・災害・へき地医療及び院内感染対策
の充実や、医療機関の経営管理改善施策及



A. 事務費
4.4百万円

[旅費等]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

個人A			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金等	事務補佐員雇上経費	4.0			
計		4.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	事務補佐員雇上経費	4		
2	個人B	医療施設指導にかかる旅費	0.1		
3	個人C	医療施設指導にかかる旅費	0.1		
4	個人D	医療施設指導にかかる旅費	0.1		
5	個人E	医療施設指導にかかる旅費	0.1		